

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月5日

上場会社名 三菱重工工業株式会社
 コード番号 7011 URL <http://www.mhi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大宮 英明
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 河本 雄二郎
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東 大 名 札 福

TEL 03-6716-3111

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	2,379,652	—	100,563	—	86,600	—	27,853	—
20年3月期第3四半期	2,128,458	3.9	93,975	27.3	80,758	40.4	54,159	40.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	8.30	—
20年3月期第3四半期	16.14	16.13

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第3四半期	4,588,428	—	1,345,704	—	28.4	388.11	—	
20年3月期	4,517,148	—	1,440,429	—	31.4	423.17	—	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 1,302,568百万円 20年3月期 1,420,203百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
21年3月期	—	3.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,300,000	3.0	105,000	△22.8	65,000	△40.6	20,000	△67.4	5.96

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 3,373,647,813株 20年3月期 3,373,647,813株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 17,482,317株 20年3月期 17,573,785株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 3,356,111,905株 20年3月期第3四半期 3,355,914,386株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成20年10月31日に公表しました通期の連結業績予想について、本資料において修正しています。
- 本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、この業績見通しにのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願い致します。実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。業績予想の前提となる条件等については、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、昨年9月に発生した米国に端を発する金融危機の影響が、世界の实体经济へ急速に波及したことで大幅に減速しました。こうした中、我が国経済は、これまで経済のけん引役であった輸出や設備投資が大幅に減少するとともに、急激な円高の進行により企業の収益が大幅に悪化するなど、景気の低迷が鮮明となりました。今後の世界経済の回復には時間を要するとの見方もあり、当面の間、厳しい経済環境が続くことが予想されます。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の当社の業績は、受注高は2兆6,132億円、売上高は2兆3,796億円、営業利益は1,005億円、経常利益は866億円となりました。なお、「棚卸資産会計基準の適用に伴う影響額」を特別損失に計上（第1四半期）したことなどにより、当四半期純利益は278億円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、保有株式の時価による評価替や株式の売却により投資有価証券が減少した一方、年度末に引き渡す工事が多いため、前年度末に比してたな卸資産が増加したことなどにより、前年度末（平成20年3月末）に比べ、712億円増加の4兆5,884億円となりました。

有利子負債については、1兆5,072億円となり、前年度末から1,418億円増加しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績は、売上高3兆3,000億円、営業利益1,050億円、経常利益650億円、当期純利益200億円の見通しであり、平成20年10月31日に公表しました通期の連結業績予想を修正しています。

業績見通しの前提となる未確定外貨に係る為替レートは、1ドル90円、1ユーロ115円です。（詳細は13ページ 平成20年度見通し をご参照ください。）

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
記載すべき該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

記載すべき該当項目はありません。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算について、当社は当第3四半期連結累計期間における税引前四半期純利益に重要な永久差異を加減算し法定実効税率を乗じて計算し、連結子会社は主として当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しています。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として「原価法」によっていましたが、第1四半期連結会計期間から「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号（平成18年7月5日企業会計基準委員会））が適用されたことに伴い、主として「原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）」により算定しています。

これに伴う当第3四半期連結会計期間末での簿価切下げ額は39,758百万円であり、平成20年4月期首時点での簿価切下げ額33,436百万円を「棚卸資産会計基準の適用に伴う影響額」として特別損失に計上しています。この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は6,322百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は39,758百万円減少しています。

- ③ 第1四半期連結会計期間から、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号(平成18年5月17日企業会計基準委員会))を適用し、連結決算上必要な修正を行っています。
これに伴い、期首の利益剰余金が30百万円減少しています。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。
- ④ 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっていましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正)が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、リース取引開始日が当連結会計年度開始後であるリース取引については通常の売買取引に係る会計処理によっています。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しています。
なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が当連結会計年度開始前のリース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。
これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	234,131	274,885
受取手形及び売掛金	1,052,772	1,086,580
有価証券	1,519	3,569
商品及び製品	169,524	147,070
仕掛品	1,116,880	889,473
原材料及び貯蔵品	140,917	128,309
繰延税金資産	112,802	114,548
その他	377,755	298,125
貸倒引当金	△6,809	△5,677
流動資産合計	3,199,495	2,936,886
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	324,665	316,559
機械装置及び運搬具（純額）	282,009	272,442
工具器具備品（純額）	71,510	82,779
土地	158,615	153,615
リース資産（純額）	709	—
建設仮勘定	41,623	50,256
有形固定資産合計	879,134	875,653
無形固定資産	26,661	29,037
投資その他の資産		
投資有価証券	419,169	609,248
長期貸付金	2,594	3,119
繰延税金資産	7,925	7,411
その他	66,520	74,281
貸倒引当金	△13,072	△18,490
投資その他の資産合計	483,137	675,570
固定資産合計	1,388,933	1,580,261
資産合計	4,588,428	4,517,148

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成20年12月31日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	711,701	733,500
短期借入金	295,342	233,801
1年内返済予定の長期借入金	108,618	85,416
コマーシャル・ペーパー	108,000	—
1年内償還予定の社債	300	40,300
製品保証引当金	23,543	23,660
受注工事損失引当金	17,561	6,893
係争関連損失引当金	12,611	—
前受金	528,999	469,285
その他	258,882	233,037
流動負債合計	2,065,560	1,825,894
固定負債		
社債	285,378	286,057
長期借入金	709,615	719,818
繰延税金負債	24,248	94,134
退職給付引当金	95,113	89,936
PCB廃棄物処理費用引当金	4,300	4,300
その他	58,507	56,577
固定負債合計	1,177,163	1,250,824
負債合計	3,242,724	3,076,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	265,608	265,608
資本剰余金	203,926	203,893
利益剰余金	792,584	787,007
自己株式	△5,043	△5,045
株主資本合計	1,257,076	1,251,464
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	57,023	157,546
繰延ヘッジ損益	3,398	7,346
為替換算調整勘定	△14,930	3,847
評価・換算差額等合計	45,492	168,739
新株予約権	878	549
少数株主持分	42,257	19,676
純資産合計	1,345,704	1,440,429
負債純資産合計	4,588,428	4,517,148

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	2,379,652
売上原価	2,040,951
売上総利益	338,701
販売費及び一般管理費	
役員報酬及び給料手当	92,063
研究開発費	34,594
引合費用	17,775
その他	93,704
販売費及び一般管理費合計	238,138
営業利益	100,563
営業外収益	
受取利息	4,552
受取配当金	8,165
その他	3,047
営業外収益合計	15,765
営業外費用	
支払利息	14,856
持分法による投資損失	746
為替差損	3,354
固定資産廃却損	3,966
その他	6,805
営業外費用合計	29,728
経常利益	86,600
特別利益	
固定資産売却益	2,712
投資有価証券売却益	14,146
特別利益合計	16,859
特別損失	
棚卸資産会計基準の適用に伴う影響額	33,436
係争関連損失	10,146
特別損失合計	43,582
税金等調整前四半期純利益	59,876
法人税等	31,306
少数株主利益	717
四半期純利益	27,853

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	59,876
減価償却費	110,977
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,297
受取利息及び受取配当金	△12,718
支払利息	14,856
持分法による投資損益 (△は益)	746
投資有価証券売却損益 (△は益)	△14,146
固定資産売却損益 (△は益)	△2,712
固定資産廃却損	3,966
係争関連損失	10,146
売上債権の増減額 (△は増加)	13,060
たな卸資産及び前渡金の増減額 (△は増加)	△265,870
その他の資産の増減額 (△は増加)	△62,685
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,189
前受金の増減額 (△は減少)	66,929
その他の負債の増減額 (△は減少)	62,719
その他	2,958
小計	△13,787
利息及び配当金の受取額	13,674
利息の支払額	△14,435
法人税等の支払額	△77,925
営業活動によるキャッシュ・フロー	△92,474
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額 (△は増加)	2,518
有価証券の取得による支出	△257
有価証券の売却及び償還による収入	567
有形及び無形固定資産の取得による支出	△123,833
有形及び無形固定資産の売却による収入	3,779
投資有価証券の取得による支出	△24,681
投資有価証券の売却及び償還による収入	50,637
貸付けによる支出	△1,448
貸付金の回収による収入	4,910
その他	80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△87,727

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	173,198
長期借入れによる収入	92,062
長期借入金の返済による支出	△75,192
社債の償還による支出	△40,150
少数株主からの払込みによる収入	23,488
配当金の支払額	△19,597
少数株主への配当金の支払額	△501
その他	△156
財務活動によるキャッシュ・フロー	153,152
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,034
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△40,084
現金及び現金同等物の期首残高	262,852
現金及び現金同等物の四半期末残高	222,767

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	船舶・ 海洋 (百万円)	原動機 (百万円)	機械・ 鉄構 (百万円)	航空・ 宇宙 (百万円)	中量産品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 共通 (百万円)	連結 (百万円)
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	186,425	833,900	341,894	324,699	620,058	72,673	2,379,652	—	2,379,652
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	105	13,342	12,657	467	10,035	6,927	43,535	(43,535)	—
計	186,530	847,243	354,552	325,167	630,093	79,600	2,423,188	(43,535)	2,379,652
営業利益 (△は営業損失)	8,626	66,661	17,520	△6,034	8,061	5,726	100,563	—	100,563

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	欧州 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 共通 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,954,574	200,131	54,138	139,738	31,069	2,379,652	—	2,379,652
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	244,527	5,755	43,204	3,128	1,077	297,694	(297,694)	—
計	2,199,102	205,887	97,342	142,867	32,147	2,677,347	(297,694)	2,379,652
営業利益	84,215	6,597	2,950	4,840	1,959	100,563	—	100,563

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	アジア	北米	欧州	中南米	中東	大洋州	アフリカ	合計
I 海外売上高（百万円）	345,413	295,693	216,198	177,912	176,156	18,495	15,831	1,245,702
II 連結売上高（百万円）								2,379,652
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	14.5	12.4	9.1	7.5	7.4	0.8	0.6	52.3

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

参考資料

前年同四半期にかかる財務諸表

(1) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間（平成19年4月1日～12月31日）

（単位 百万円）

	19年度第3四半期 (19/4～19/12)
売上高	2,128,458
売上原価	1,810,409
売上総利益	(14.9%) 318,048
販売費及び一般管理費	224,073
営業利益	(4.4%) 93,975
営業外収益	
受取利息及び配当金	12,350
持分法による投資利益	7,861
その他収益	3,327
合計	23,538
営業外費用	
支払利息	15,151
為替差損	10,085
固定資産廃却損	3,894
その他費用	7,622
合計	36,755
営業外損益(△は損失)	△ 13,216
経常利益	(3.8%) 80,758
特別利益	
固定資産売却益	10,597
合計	10,597
特別損失	
事業改善・再構築に係る特別対策費	2,955
合計	2,955
税金等調整前当期純利益	(4.2%) 88,401
法人税等(減算)	32,956
少数株主利益(減算)	1,285
当期純利益	(2.5%) 54,159

(2) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（平成19年4月1日～12月31日）

(単位 百万円)

			19年度第3四半期 (19/4～19/12)
船舶・海洋	売上高	外部顧客に対する売上高	192,177
		セグメント間の内部売上高又は振替高	268
		計	192,445
	営業利益（△は営業損失）		3,973
原動機	売上高	外部顧客に対する売上高	615,694
		セグメント間の内部売上高又は振替高	12,426
		計	628,121
	営業利益（△は営業損失）		37,201
機械・鉄構	売上高	外部顧客に対する売上高	276,825
		セグメント間の内部売上高又は振替高	9,345
		計	286,170
	営業利益（△は営業損失）		6,871
航空・宇宙	売上高	外部顧客に対する売上高	304,842
		セグメント間の内部売上高又は振替高	521
		計	305,364
	営業利益（△は営業損失）		10,878
中量産品	売上高	外部顧客に対する売上高	647,264
		セグメント間の内部売上高又は振替高	9,152
		計	656,416
	営業利益（△は営業損失）		26,339
その他	売上高	外部顧客に対する売上高	91,654
		セグメント間の内部売上高又は振替高	5,564
		計	97,218
	営業利益（△は営業損失）		8,710
消去又は共通	売上高	外部顧客に対する売上高	-
		セグメント間の内部売上高又は振替高	△ 37,278
		計	△ 37,278
	営業利益（△は営業損失）		-
連結合計	売上高	外部顧客に対する売上高	2,128,458
		セグメント間の内部売上高又は振替高	-
		計	2,128,458
	営業利益（△は営業損失）		93,975

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（平成19年4月1日～12月31日）

（単位 百万円）

			19年度第3四半期 (19/4～19/12)
日 本	売上高	外部顧客に対する売上高	1,765,669
		セグメント間の内部売上高又は振替高	206,119
		計	1,971,788
	営業利益	82,378	
北 米	売上高	外部顧客に対する売上高	160,798
		セグメント間の内部売上高又は振替高	6,829
		計	167,627
	営業利益	4,903	
ア ジ ア	売上高	外部顧客に対する売上高	46,664
		セグメント間の内部売上高又は振替高	33,020
		計	79,685
	営業利益	1,698	
欧 州	売上高	外部顧客に対する売上高	117,209
		セグメント間の内部売上高又は振替高	3,171
		計	120,380
	営業利益	3,403	
そ の 他	売上高	外部顧客に対する売上高	38,116
		セグメント間の内部売上高又は振替高	955
		計	39,072
	営業利益	1,591	
消 去 又 は 連 結 合 計	売上高	外部顧客に対する売上高	-
		セグメント間の内部売上高又は振替高	△ 250,095
		計	△ 250,095
	営業利益	-	
連 結 合 計	売上高	外部顧客に対する売上高	2,128,458
		セグメント間の内部売上高又は振替高	-
		計	2,128,458
	営業利益	93,975	

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（平成19年4月1日～12月31日）

（単位 百万円）

			19年度第3四半期 (19/4～19/12)
海 外 売 上 高	ア	ジ ア	317,037 (14.9%)
	北	米	274,707 (12.9%)
	欧	州	192,092 (9.0%)
	中	南 米	126,070 (5.9%)
	中	東	123,525 (5.8%)
	大	洋 州	8,535 (0.4%)
	ア	フ リ カ	7,240 (0.4%)
合 計			1,049,208 (49.3%)
連 結 売 上 高			2,128,458 (100.0%)

（ % ）は構成比を示す。

平成 20 年度見通し

セグメント別受注高

(単位 億円)

	連 結
船 舶 ・ 海 洋	2,600
原 動 機	13,000
機 械 ・ 鉄 構	5,500
航 空 ・ 宇 宙	5,300
中 量 産 品	7,400
そ の 他	1,000
消 去 又 は 共 通	△500
合 計	34,300

セグメント別売上高

(単位 億円)

	連 結
船 舶 ・ 海 洋	2,300
原 動 機	12,000
機 械 ・ 鉄 構	5,500
航 空 ・ 宇 宙	4,900
中 量 産 品	7,600
そ の 他	1,200
消 去 又 は 共 通	△500
合 計	33,000

業績見通し

(単位 億円)

	連 結
売 上 高	33,000
営 業 利 益	1,050
経 常 利 益	650
当 期 純 利 益	200

1 株 当 た り の 配 当 金	中間 3 円, 期末 3 円, 合計年間 6 円
-------------------	--------------------------

・上記の予想の前提条件その他の関連する事項については、2ページを参照してください。

設備投資額

(単位 億円)

	連 結
設 備 投 資 額 (注)	2,000

(注) 設備投資額は固定資産の新規計上額 (建設仮勘定の計上額)。